

# 建設業における仮設機材に起因する 死傷災害発生状況(18) ~平成25年発生の各種足場に関する負傷災害~

一般社団法人 仮設工業会 事務局

## はじめに

本会の会報において平成25年10月号から下記のとおり建設業における仮設機材に起因する死傷災害発生状況を掲載しています。

- (1) 平成25年10月号・災害の概要
- (2) 平成26年 1月号・平成22年・機材センター
- (3) 平成26年 2月号・平成22年・脚立
- (4) 平成26年 3月号・平成22年・梯子
- (5) 平成26年 4月号・平成22年・つり足場
- (6) 平成26年 5月号・平成22年・移動式足場
- (7) 平成26年 7月号・平成24年・死亡災害
- (8) 平成26年10月号・平成23年・機材センター
- (9) 平成26年12月号・平成23年・枠組足場
- (10) 平成27年 1月号・平成23年・移動式足場
- (11) 平成27年 2月号・平成23年・支保工
- (12) 平成27年 3月号・平成23年・アルミニウム合金製可搬式作業台・高所作業台

- (13) 平成27年 9月号・平成25年・死亡災害
- (14) 平成27年11月号・平成24年・機材センター
- (15) 平成28年 4月号・平成24年・枠組足場
- (16) 平成28年 5月号・平成26年・死亡災害
- (17) 平成28年 9月号・平成25年・機材センター

今回は、平成25年における各種足場に関係すると考えられる負傷災害を、厚生労働省のデータベース(職場のあんぜんサイト)から仮設工業会事務局において取りまとめたものです。厚生労働省のデータベースは、休業4日以上のものについて災害発生時毎に全事例のうち、およそ1/4を無作為に抽出したのになっています。なお、災害発生事例を参考にして、仮設機材に関する災害防止や教育等にご活用ください。

## ① 枠組足場に関係すると考えられる事例

NO	負傷災害発生状況(平成25年)
1	枠組足場組立中、作業員の気分が悪くなり、休憩時に「具合が悪い」旨自己申告があった。脱水症状が見受けられたため、病院へ搬送。熱中症との診断を受けた。
2	枠組足場を掛け、足場の一段目にて、バールで外装材をはがす作業中、外装材と打ちつけたバールが外れ、バランスを崩し、墜落した。
3	耐震補強工事の枠組足場の組立作業中、被災者が足場資材の鋼製布板(W240×L914mm、約5.5kg)にフックを掛け、足場5段目(高さ8.5m)にいた同僚がロープで吊り上げた際、フックの掛かりが浅かったため、外れ、資材が落下。被災者に当たった。
4	鉄骨3階建て倉庫にて、外部足場側から1階鉄骨柱脚のベースグラウト注入作業中、作業している柱に取り付けてある耐風梁(高さ地盤面1.8m)に枠組足場材(建枠917)を室内側から立て掛け、仮置きしていたところ、梁の片方のボルトが入っていなかったため、重みで耐風梁(100×100×628、493m、重量84kg)がガセットプレートから外れ、落下し、被災者の足に当たった。
5	足場組立作業中、フェンスに立て掛けていた枠組足場用建地材の前を横切ろうとした際、腰部に固定していた工具の紐が建地材に引っかかり、倒れてきた建地材を受け止めようとバランスを崩し、転倒し、建地材が胸に当たった。

6	枠組足場架設作業中、地上約14mの9段目枠組足場上から直下のコンクリート舗装面に墜落した。
7	外壁シーリング打ち替え作業中、高さ2.5mの枠組足場上段にて、足を踏み外し、墜落。高さ1mの下段足場に当たり、地面に転落した。
8	間柱を取り付けるため、外部枠組足場2段目でクレーンで吊った間柱材の合図をしていた際、吊荷が親網に引っ掛かり斜めに滑り、鉄骨梁に当たり振れたため、手で押さえようと掴んだところ、反動でバランスを崩し、足場から飛び降りた。
9	建物の塗装現場にて塗装の養生作業中、枠組足場上で作業を行っていた際、足場の板を設置していなかった箇所にて足場を踏み外し、転落した。
10	枠組足場材を片づけるため、足場材にワイヤーを掛ける作業をしていた際、圧碎機オペレーターが操作した圧碎機先端が被災者に接触。転倒した。
11	枠組足場解体作業中、高さ7mに取り付けてある、水平つなぎパイプ（クランプ3個付、長さ5m、重さ15.8kg）を取り外そうとした際、バランスを崩し、作業床（高さ5.5m）からパイプと共に落下し、死亡した。

## ② 単管足場・くさび緊結式足場・ブラケット足場に関係すると考えられる事例

NO	負傷災害発生状況（平成25年）
1	バルコニーの改修工事中、高さ3mの単管足場の上でバランスを崩し、足場の上から道路側へ飛び出したため、頭から地面に落下した。
2	6尺のアルミ脚立にて作業中、単管足場にクランプを取り付けた際、手を滑らせ、反動で脚立より落下した。
3	外部単管足場の組み立て作業中、単管材料を持ち移動した際、固定されていない敷板が天秤状態となり、隣地のアパートに転落した。
4	くさび緊結式足場上にて、外壁塗装作業中、3段目の布（地上高約5.4m）上での作業を終え、2段目の作業に移るため、縦地に掴まり、布端部に移動したところ、足を滑らせ墜落し、踵部及び足親指等を強打した。
5	長さ3.8m、重量14kgのくさび緊結式足場の支柱を8本にまとめワイヤで玉掛作業し、4tトラッククレーンで吊り上げた際、荷崩れを起こし、支柱が落下し、ふくらはぎ付近に支柱の3本が落下した。
6	足場の組立作業中、固定されていない足場板の上を移動し、ブラケット足場が傾いた際、足場板が外れ、墜落、転倒し、床の壁筋に患部を刺し、裂傷を負った。
7	3階北側足場（隙間埋めブラケット足場）にて、壁天井の塗装養生作業後、足場から躯体バルコニーに降りようとした際、ブラケットと長尺足場板との番線結束が外れていたため、ブラケットからはみ出した足場板の端部に乗ったところ、天秤状態となり、高さ約1.4m下のスラブに強打し、肘を捻った。

8	ブラケット足場上にて作業中、腰袋が落下防止のネットに引っ掛かりバランスを崩し、下にあったアルミ脚立に飛び移ろうとしたところ、足を脚立に激しくぶつけ、転倒した。
9	外壁の塗装作業中、足を滑らせ、躯体側ブラケット足場板上から転落した。
10	外壁修繕工事中、ベビーホイストで吊り上げられた足場板をブラケット足場の手摺から身を乗り出し、足場内に取り込もうとしたところ、バランスを崩し、約25m下の隣接するマンション敷地内に転落した。

### ③ 移動式足場に関係すると考えられる事例

NO	負傷災害発生状況（平成25年）
1	倉庫にて、ローリングタワーの不良確認のため、組み立て作業中、ローリングタワーから降りようと足を地面に着いたところ、バランスを崩し、足首を捻った。
2	三塁ブルペンの電球交換作業のため、ローリングタワーを組み立てている際、下の作業者より補強支持棒を受け取るため、身を乗り出して待っていたところ、手を滑らせ、支持棒が後頭部に当たった。
3	天井清掃のため、ローリングタワーに登っていた際、誤って足を踏み外し、2mくらいの高さから転落。かかとで着地し、負傷した。
4	外壁塗装作業中、ローリングタワー2段足場を用いた際、バランスを崩し、足場から転倒した。
5	電気集塵機ホッパー更新工事にて、高さ5.2mのローリングタワーの作業床拡張中、作業床に仮置きしていた足場板が押し出されて落下し、下で足場材の準備をしていた被災者の後頭部に当たった。
6	外壁改修工事にて、高所作業でローリングタワーの2段目に上がった際、強風により脚立でバランスを崩し転倒。脛を脛骨開放骨折した。
7	2段移動式足場の解体作業中、足場を下の同僚に渡す際、1段目の作業床（高さ2m）から足を滑らせ、落下した。手首を捻挫し、頭部を地面に打った。
8	雨水処理施設内の底版上にて、壁面のモルタル仕上作業中、移動式足場を2人で移動させた際、床上の障害物に輪が引っ掛かり、足場が倒れ、足場の支柱と床の間に足首を挟まれた。
9	高さ約3m30cm上にある足場板の上にて、外壁の角浪を張っていた際、移動式足場と脚立の間に足場板を渡らせていたところ、誤って落下した。

### ④ 吊り足場に関係すると考えられる事例

NO	負傷災害発生状況（平成25年）
1	塗装用吊り足場を撤去中、足場上の作業員が足場板上を移動していた際、仮置きした足場板上に乗ったところ、足場板の結束が解かれていたため、天秤状態となり、9.5m下の線路敷きに墜落した。